

# 明日に 向かって

明日に向かって

多治見陶都ライオンズクラブ

広 報 誌

Vol.  
18

2004年1月発行



スローガン

ひろげよう相互理解でつなぐ奉仕の輪



2003.7～2004.6  
陶都ライオンズクラブ  
会長

L.丹羽輝男

## 会長挨拶

私は、今年度会長を任命されて、大役が勤まるか不安でしたが、幹事を始め会員皆様方のご協力により今日まで来ることができ、大変感謝致しております。

社会情勢は、長引く不況・環境問題・治安の悪化など、きびしい状況が続いております。そんな中、今年度は、「ひろげよう相互理解でつなぐ奉仕の輪」をスローガンに活動を致しております。前年度よりの継続事業として“虎渓公園の桜再生”に取り組んでおりますが、我々クラブだけの力では到底成り立つものではありません。多くの人々に声を掛け、理解を求め、多治見のシンボルとして、又、市民の憩いの場所として、美しい虎渓公園を作り上げていく、息の長い奉仕活動にしていかなければと思います。

中学生による環境問題作文コンクールは委員会の皆様のご努力により、終わることができました。環境問題への関心が高く心強い思いが致しました。

後半の活動として中学卒業生の九年間皆出席生徒への表彰、そして虎渓公園での二回目の奉仕作業が残っております。各委員会の皆さん、ご苦労さまですが宜しくお願い致します。

## 幹事挨拶

「ウィサーブ」の精神のもと幹事職もはや半年が過ぎようとしています。

今、幹事職という立場で多くの先輩とお話する中、各クラブが抱える問題点、例会の充実による出席率の向上・経費削減による会員負担の軽減・地域に対してのライオンズの存在意義・PR等、改めて痛感させていただく日々を過ごしています。

幸いにも陶都ライオンズには「環境問題作文コンクール・小中学校9年間皆出席者表彰・昨年度より始まった虎渓山の桜再生事業」という先輩諸兄が築かれた継続事業や財産があります。

私は、クラブの財産を会員一人一人が各々その立場に立って、役割を真剣に熱い想いで演ずることにより大きな満足感が味わえるものと考えています。

多治見陶都ライオンズの名に恥じないように、継続事業に加え、丹羽会長の「ひろげよう相互理解でつなぐ奉仕の輪」のスローガンのもと、新しい輪を広げ、残り半年間を会員の皆さんに、より楽しく満足感を得ていただけるよう責務を遂行してゆく所存です。

何卒、宜しく申し上げます。



2003.7～2004.6  
陶都ライオンズクラブ  
幹事

L.大嶽利彰



2003. 7~2004. 6  
陶都ライオンズクラブ  
会計

L. 兼松 伸一



2003. 7~2004. 6  
陶都ライオンズクラブ  
計画委員長

L. 長尾 純夫

## 会計挨拶

丹羽会長の下、新年度がスタートして早、半年が過ぎようとしています。非常に押しの強い幹事と数字強くない会計のコンビで大丈夫かと不安に思われた諸兄も多かったのではないのでしょうか。

会員減を防ぐべく無い知恵を振り絞って新しい試みを実践できつつあるのは、副会長各位と理事会のご理解の賜物と感謝する次第です。すぐには、結果は出ませんが、変化の兆しは現れてきたように感じます。

クラブの活動を魅力あるものにしていくには、「面白くて、やがて為になる」といった内容の例会を続けられるかにかかっているのではないのでしょうか。

あと半年、今の会員が減らないことを祈りつつ、役職遂行に微力ながら頑張りますので宜しくご協力をお願いいたします。

## 計画委員会

こんにちは、計画委員会です。

7月に始まった15年度も折り返し地点までできましたが、計画委員会の15年度事業は「ZC合同例会・虎溪山移動例会時における修道院でのバーベキュー例会・日間賀島での忘年例会・2月のチャーターナイト例会・京都花見ツアー例会・さよなら例会」と盛りだくさんの事業を計画ご用意させていただいております。

そこで、これまでの事業を振り返って、反省と今後の事業に対する意向を述べさせていただきます。

7月11日のZC合同例会では、多治見LC・佐藤委員長にご指導いただき無事に事が過ぎたという印象です。

10月4日の修道院でのバーベキューは、桜再生のための土壌改良作業を済ませ行政の方々と交えておいしいビールが飲めました。

年度当初の委員会で、年間4回の「飲み会をやれ」と計画委員の先輩諸氏より指示され計画した12月6日の日間賀島での忘年例会では、村井副委員長に一切の手配・準備をしていただき大変助かりました。

また、マジック同好会による鮮やかな手品もご披露いただき場を盛り上げていただきました。

予算を削るためにコンパニオンではなく酌婦をお願いしてありましたが、これがマタ「ビックリ」我がLCメンバーの盛り上げでコンパニオン以上に大活躍、大変お値打ちでありました。

芸達者の皆様方により楽しい忘年例会であり、今後の事業でのご活躍に期待したいと思います。





2003.7~2004.6  
陶都ライオンズクラブ  
会員・会則委員長

L. 宮木 修

今後、チャーターナイト例会は、「陶都LCの誕生日である」ことを頭に置き企画したいと思います。

花見例会は、桜再生でお世話になった佐野籐右衛門さんの桜を見に行きたいと思います。

さよなら例会では、一年間の総決算として盛り上げたいと思います。

若輩者が計画委員長の大役をお預かりすることは大変恐縮ですが、精一杯、頑張りますので皆様方のご協力と、ご出席をお願いいたします。

### 会員・会則委員会

「ひろげよう相互理解でつなぐ奉仕の輪」をスローガンに本年度は始まりましたが、一層世の中が難しい時に会員・会則委員長をお引受けしたような気がします。今年度、退会者3名、入会者2名、休会者2名となっておりますが、どこのクラブも退会者の多いのは、世の中の景気のせいばかりではないような気がします。クラブが出来て10数年がたちましたが、私を含め会員一人一人の気がゆるんでいるような気がします。私達クラブは今、会員増員に大きなチャンスがおとずれております。桜再生と言う長い長い事業を行っております。桜再生を大いにPRしてクラブ員の増員につなげたいと思います。満開の桜の下でいろんな行事を行い、大いに楽しもうではありませんか。

### 保健環境保全委員会

第11回環境問題作文コンクール、無事終わることができほっとしております。これもメンバーの皆様のご協力あってのこと。事務局にもたいへんお世話になりました。本当にありがとうございました。本年の応募数は441作品でした。生徒さん達は、環境に対する何らかの取

り組みを学校等で体験されているようで、大半が実体験を元にし、新聞、テレビ、学校の授業などで感じられた事作文として発表して下さいました。私達、多治見陶都ライオンズクラブの11年間に渡る環境問題作文コンクールも意義ある形で、学校や



生徒さん達に伝わっているようにたいへんうれしく思います。

この後の委員会活動は、笠原町の幼稚園・保育園への「実のなる木」の植樹、「安心できるか、落ち込むか」の血糖値検査と残っております。どうぞ、ご協力の程よろしく。





2003. 7~2004. 6  
陶都ライオンズクラブ  
公衆安全・アイヘルス委員長  
L.加藤 清明

## 公衆安全・アイヘルス委員会

委員長を拝命し、早、半年間が過ぎようとしております。

当委員会のメイン事業として「虎溪公園の桜再生事業」がござい  
ますが、何分桜に対しての造詣がまったく無い事から昨年度の委員長尾  
関ライオン及び長尾ライオンの御指導を賜りながら10月度にメンバ  
ーの皆様の大なる勤労奉仕の御協力を受け、桜の延命をはかるべく土  
壌改良作業を実施させて頂きました。お陰様で計画した区域の作業を  
全部終了することができました。

昨年度の下刈り作業といい、本年度の土壌改良作業といい非常に地  
味な作業であり、その効果がすぐには、現れないと思いますが、必ず  
やこの作業が数年後、数十年  
後には生きてくると確信して  
おります。

また、今後の予定としては、  
この事業が当クラブのみの活  
動として終わることなく広く  
一般市民の皆様にも継承して  
頂く為に長尾ライオンに知恵  
を拝借し各種団体に声を掛け、



「虎溪公園桜再生プロジェクト」的なものを設立する為の準備作業を  
進めてまいりたく存じます。

更なるメンバーの皆様の英知と御協力を賜りたく存じます。

## 新入会員

本年度より前任の徳田に代わり、東濃信用金庫広小路支店長とし  
て本会に入会いたしました三宅孝志と申します。

自宅は可児郡御嵩町にあり、趣味は釣り、ジョギング、カメラ等々  
です。(趣味ではありませんがアルコールは少々たしなみ程度というこ  
とにしてください。)

東信へ入庫してはや30余年経ちますが愛知県、可児加茂地区が多く  
多治見地区は初赴任となり、流行り言葉ではないですが“へえー”と  
驚くことばかりです。

この広小路支店はご存知のとおり「とうしん」発祥地で歴史のある  
店舗です。着任し数ヶ月で全てを知ることは難しいですが様々な事を  
本会を通して学んでいきたいと思っております。既会員の方々には色



々御迷惑をお掛けしますが50  
歳とは云えそこはピカピカの  
一年生ということで許して頂  
きたいと思っております。

最後になりましたが本会・  
仕事双方に邁進いたしますの  
で今後とも宜しくお願い致し  
ます。



陶都ライオンズクラブ  
L.三宅 孝志



陶都ライオンズクラブ  
L.板倉宗彦

## 新入会員

この度、多治見陶都ライオンズに入会させていただきました板倉宗彦です。

先月（11月）で39歳になりましたが多治見陶都ライオンズクラブでは、最年少ではないかと思えます。

自分の趣味は友人達とバイクでのツーリングと少しも上達しないゴルフです。

休日の趣味が仕事から来るプレッシャーに対する気分転換手段となっていますが、週に1日しかない休日を「趣味の日」にしてしまうと、家の事が何も出来ないのも妻の視線がとても気になる日でもあります。

「多治見」には平成12年春に家業の不動産を手伝う為に帰って来ました。その時に見たものがJR多治見駅北口の区画整理です。「これはまさに新しい町が出来て行く瞬間に自分が立ち会おうとしているのではないか」と感じました。少しずつではありますが変わりつつある市内を見て、「地域発展の為に何か自分にも出来る事はないだろうか？」と考えていたところ、平成15年夏頃に陶都ライオンズの存在と活動内容を知り、自分の存在や知識、15年におよぶ不動産の経験が地域の為に役に立つ事が出来るのではないかと思い、この度入会させて頂く事になりました。

少しでも早く陶都ライオンズの活動に自然体で参加できるよう頑張っていきますので、ご指導下さいます様、皆様宜しくお願い致します。



## 編集後記

早いもので2003年も終わりに近づき、丹羽会長、大嶽幹事、兼松会計の執行部も船出から6ヶ月が経て、上半期が終わりました。各委員会のアクティビティも主な行事・事業も残り少なくなり、下半期へと続く事となりました。

残り6ヶ月、まだまだ気をぬかず頑張って参りましょう。我々の希望としては、次の新しいアクティビティを次年度に向けて計画をねってほしいものです。

我々のクラブは全体を見るに皆和やかな雰囲気です。このままいつまでも続けたいものです。

最後に明日に向かったの原稿をお願いしました所、全員の方が期日までにFAXをいただき大変感謝しております。心よりお礼申し上げます。